

手 我朝命ヲ奉シ貴大臣ニ接待ス貴國隨員ニ接スル能ハス

申 任官等ハ公務ニ關スル者ナレハ隨員ニ應接セハ如何

大臣 相當セス

申 貴國隨員ト異ナレハ相當ノ者コレナシ要務アラハ任官等ヲ貴

館ニ召ヒ其意ヲ本大臣ニ轉知セラルヘシ

大臣 諾

談畢ル彼酒ヲ供セント請フ大臣之ヲ辭ス彼固ク請テ已マス少アリテ

酒肴羅列シ樂ヲ階下ニ奏ス五時歸館

○談判第二日記事

明治九年二月十二日午後第一時黒田辨理大臣井上副辨理大臣朝鮮國大

臣申機ヲ滋承ト江華府鎮撫保登營門前執事廳ニ於テ談判浦瀬裕通譯官

本小一森山茂安田定則小牧昌業荒川德滋陪坐相見ルノ儀畢リテ

申 貴兵士瀕死ノ儀京師へ上申シタルニ朝廷ニ於テモ甚タ氣ノ毒

ニ存スル旨申來シト尤地方へモ普告致シヲキタレトモ未ダ流

屍ヲ得タル報知無之

大臣 貴朝廷ノ厚意別テ辱ナシ

大臣 昨日談判ノ續キヲ申上クヘシ是迄兩國情意阻隔セシハ八戸順齋

ノ說新聞紙ニ記載スルニヨリ貴國民情紛紜ノ次第モ承知セリ然

ルニ新聞紙ノ信スルニ足ラサルハ既ニ昨日委詳陳述セシ通ナリ

我國維新以來ノ書問八年ヲ經ルノ久シキ一言ノ御答ヘコレナク
 我朝廷ニ於テ甚々不満足ニテ既ニ國辱ヲ受ケタル上ハ其儘差置
 ク可ラストノ國論紛起我 皇帝陛下深ク憂慮セラレ本兩大臣
 ヲ派シ兩國ノ情意ヲ通シ三百年ノ舊好ヲ修ムルヲ命セラレタリ
 然ルニ昨貴大臣ノ説ヲ聞クニ従前ノ阻隔ハ既ニ氷解セリト申サ
 ルレトモ此重大ノ事件唯氷解トノミニテハ其意ヲ得ヌ尤従前ノ
 手續キ證據トナルヘキ書類悉皆持參セリ森山茂其事ヲ關知セシ
 者ニ付同人ヨリ委シク申述フヘシ

大臣

即チ茂ニ命シ書類ヲ出シ明治九年以來ノ事件條ヲ逐テ陳述ス
 只今森山ヨリ申上シ通ノ手續キナリ然ルニ唯新聞紙ノ事ヲ引キ
 内情分疏有リト雖トモ夫ニテハ我朝廷へ稟報イタシ難シ何分發

輝ト御答承リタシ

申

昨日新聞紙ノ事ヲ申上ケシハ數年阻隔ノ事ニ付略内情ヲ明セ
 シ迄ニテ今日ニ至テハ前ニ書契等論辨セシ件モ最早異議コレ
 ナシ何卒向後兩國親睦ノ道ヲ御商量下サレタシ

大臣

其儀ハ承知セリ抑先年以來貴國我ニ書契ヲ斥ケ我カ使臣ヲ拒ミ
 シニヨリ全國憤恨之ヲ下問ニ付ス可ラサルノ議起レリ輿情既ニ
 此ノ如シ廟堂ニ於テモ深ク配慮種々困難ノ情實アリ此儀ニ付今
 ヲリ四年前大臣數名議論合ハサルニヨリ解職セシ事アリ其一名
 ハ是非其黨一手ヲ以テ罪ヲ貴國ニ問ハントシ肥前佐賀ト云フ地
 ニ屯集シタリ尤海陸軍兵員モ各心ヲ協セ問罪ノ擧ニ從ハント欲
 スル者數多アリ佐賀ノ黨勢切迫ナルニヨリ朝廷之ヲ鎮撫ノ爲メ

大臣ヲ佐賀ニ遣セリ其人ハ即チ參議兼内務卿大久保利通ニテ一昨年臺灣ノ事件ニ付辨理大臣ノ命ヲ奉シ清國北京ニ於テ同國政府ト談判セシ者ナリ然ルニ佐賀ノ黨鎮撫ヲ受ケス遂ニ干戈ヲ尋フルニ至リ或ハ鋒鏑ニ罹リ或ハ刑戮ヲ被ル者少カラス事已ニ此ニ至ル而シテ朝廷之ヲ鎮撫シテ激動ニ至ラシメサルハ遽ニ兩國三百年ノ好ヲ破ルヲ欲セサルノ意ナリ今回兩大臣ヲ派出セラル時モ海陸軍許多ノ兵ヲ付スヘキノ議アリシニ本大臣ハ多兵ヲ率ユルヲ須ヒナル者ヲ論述セリ其他情實尙巨細陳說セント欲スレトモ其説長シ姑ク之ヲ略ス右ノ次第ニ有之從前貴國ノ無禮ヲ加ヘラレタル儀ハ相當ノ御挨拶承リ度唯氷解トノミニテハ本大臣復命ノ途ナシ何分既往ヲ答メストノ儀ニハ至リカタシ

申

我國貴國ト數年間阻隔ヲ生セシヨリ遂ニ貴國內情安カラサル次第ニ立至リ殊ニ佐賀變動ノ事件今日初テ拜承貴朝廷ノ用意深厚ナル委細領承感謝ニ堪ヘス我國ニ於テモ從前阻隔ヲ生セシメタル東萊府使ヲ遠竄シ訓導ヲ斬殺セシコトハ既ニ御承知モアルヘシ乍併我等ハ唯接待ノ命ヲ奉シテ來リシナレハ卒爾ニ御挨拶モイタサレス何レ朝廷へ稟報ノ上朝廷ヨリ貴大臣御復命相成丈ノ相當ナル御挨拶致スヘキナリ

大臣

唯今貴朝廷從前ノ非ヲ悔悟イタサレシ情實相分リタリ就テハ向後兩國ノ交情阻隔ヲ致サ、ル様永遠共守ノ條約取結ヒ度宗氏ノ舊例ニテハ確乎タル條約モ無之ニヨリ又紛議ヲ生シ終ニ兩國不虞ノ難ヲ醸スモ測ラレス現今ノ要務ハ條約ヲ議立スルニ在リ既

申

ニ條約案ヲ取調ヘヲケリ譯官ヲシテ之ヲ傳ヘシムヘシ

條約案拜見致スヘシ

副大臣

此ハ國文ニテ記シタルハ譯官ヨリ申上ヘシ此條約ハ貴國モ自主ノ邦ニシテ日本國同等ノ權ヲ有スルニ付萬國交際普通ノ例ニ依リ天地ノ公道ニ基キ取調タレハ先ツ猜疑ノ念ヲ除キ御考案コレアルヘシ

浦瀬裕條約案ヲ披キ逐條講明ス

副大臣

不分明ノ件ハ御訊問有之ヘシ

申

譯漢文ヲ見シ事ヲ請フ

副大臣

即今差上ケス互換ノ節ハ自カラ相副フ可シ

申

譯官ノ説ク所ニテ大意ハ了解イタスト雖京師へ詳細報告イタ

申

副大臣 後刻ニテモ訓導ヲ旅館へ御差出シアラハ此本ヲ以テ講明スヘシ
夫ヲ書記イタン可然
スヘキニ付漢文ニ付セラル、義ハ出來間敷哉

申

然ラハ後刻訓導等ヲ差出スヘシ

大臣

從來兩國情意洽カラサルノ憂ヲ除カンカ爲メ此條約ヲ結ヒ互ニ鈐印交換シテ永遠遵守ノ證トスルハ即チ我カ 皇帝陛下本大臣ヲ派セラル、ノ趣旨ナリ此儀ノ御決答ハ預メ期ヲトセサル可カラサレハ議政ノ中ニテモ全權ヲ有シタル大臣來接セラルカ又ハ貴兩大臣更ニ委任ヲ受ラル、カ何レニセヨ條約ヲ議立シ鈐印ノ運ニナル丈ノ大臣ニ引合申ス可シ

承知セリ我等ハ貴國舊好ヲ繼クノ意ハ萬事舊格ニ遵ヒ取計ハ

申

ント心得居シニ此條約書案ヲ拜見スレハ新規ノ箇條多ク我等ノ專決ヲ爲シ難ケレハ先ツ大意ヲ京師ニ奏シ然ル後此條約書案ヲ差出ス順序ニ相成ヘク我國ノ例格ニテハ縱令領議政來々接ストモ獨斷ハ出來不申日ヲ期シテ決答スルハ出來申スマシ從前宗氏ノ慣用シ來リシ例ハ彼我條約ヲ結ヒタルニ非ス決シテ永遠相安ンスルノ道ニ無之今斯條約ハ天地ノ公道ニ基ツキ萬國普通ノ例ニ依リ取調タル者ナリ況ンヤ隣國ノ交ニ於テハ尤モ缺ク可カラサル緊要ノ事タリ若シ京師へ奏聞ノ上條約ヲ結フヲ肯ンセサルトキハ即チ貴朝廷舊好ヲ繼クノ意ナキナリ

我國ハ從來貴國トノ交アルノミ外國へ通商シタル事ナキ故萬國交際ノ法モ不案内ナリ今愚見ヲ以テスレハ朝鮮ハ至テ貧國

大臣

ニテ物産トテモ僅ニ棉及ヒ牛皮等ナレハ處々ニ開港イタスモ夫程ノ益アルマシ乍然此ハ私見ナリ兎ニ角京師ニ奏聞ノ上ハ可否ノ確答アルヘシ

大臣

貴朝廷ノ御決答ヲ待ツヘシ尤此内ニハ從前用ヒ來リシ箇條モ多ク格別御評議ノ時間モ費サ、ル可ケレハ日ヲ期シラクヘシ然ルニ之ヲ朝廷ニ奏聞ノコト愚考ニハ御兩人ノ内御上京ノ上奏聞可然五日間ニ可否ノ決答承リタシ

申

京師ニ於テ衆員會集協議ヲ盡スヘキニ付五日ニテハ御受合イタシ難シ就テハ兩名ノ内上京イタスカ都合ヨク取計フヘケレトモ貴大臣態々御待ノ處ニ萬一期ヲ失シテハ不相濟事ナリ

大臣

精々御盡力ハ可有之ナレト箇様ノ儀ハ預メ期日ヲトセスシテハ

必ス遷延ノ憂アラシ

申

縦令時日ヲ刻セストモ決シテ等閑ニイタス筈ハ無之精々撈取
様可致ニ付一旬間ト定メ置タシ

大臣

何卒明日ヨリ七日ヲ期シ御答有之度

申

廷臣衆議ヲ經然ル後國王へ奏聞ノ都合モアレハ是非十日ト相
願度

大臣

貴大臣上京相成ルナレハ船路ノ都合等モ可有之我小汽船一時御
借渡可申右ニテ仁川等ノ地方へ航行アラハ至テ迅速ニ達スヘク
是非七日ニ相願ヒタシ

申

船路ノ御懸念下サレ辱ナシ乍然若シ七日ヲ期シ万一相後レテ
ハ不都合ニ付十日間ト申上ケシナリ

大臣

當方モ都合アルニ付押テ七日間ニイタシタシ

申

京師ヨリノ決答或ハ七日前ニ相運フモ知レサレ共万一違約ノ
事ニ至ラサル爲メ御氣ノ毒ナカラ十日ヲ期シタシ

副大臣

今刻スル所ノ期ハ條約鈐印完成ノ期ト思ハルヤ又ハ可否ヲ決答
ノミカ

予

我等ハ全權ヲ委付セラレタルニ非ス京師ニ奏聞シテ可否ノ決
ヲ仰ク可キナレハ固ヨリ十日間ニ完成スル能ハス可否ノ決答
ノミニテモ我等上京スルカ或ハ急使ヲ發スルカ往復ノ時日ヲ
費スヘシ故ニ十日間ト願フナリ

大臣

然ラハ貴意ニ應シ十日間ヲ期シ若シ夫迄ニ回答コレナキ時ハ本
大臣不得已歸國ス可シ然ラハ兩國交際ノ事終ニ相止ムニ至ルモ

測ラレス念ノ爲メ申置ナリ

尹

條約案中某條ハ可某條ハ否ト可否ヲ定メ申上ル事ニ可相成ト
存スルナリ

大臣

可否ノ決答アリテ後我ヨリ論辨ノ件一々京師へ稟報セラルヘキ
答ナルヤ然ラハ又時日ヲ移スニ付相當ノ權ヲ有シタル人來接ア
ルヘシ

尹申

此儀ヲ奏聞ノ上ハ如何指令コレアルヘキヤ相分リ難シ我國從
來全權大臣ヲ命スルノ例ナシ

副大臣

然ラハ一々國王ニ奏聞セサレハ決セサルカ

申

時々議政府ニ於テ評議ノ上議案ヲ國王ニ出シ決ヲ取ルナリ

大臣

度々ノ御相談ニヨリ十日間ニ相定メタル上ハ萬一期ヲ失シ回答

ナキトキハ曠日之ヲ待ツ能ハス直ニ歸國ス可シ既ニ五六日前本

國ヨリ督促ノ者來航セリ此儀ハ返ス々々モ申述置ナリ

申

承知セリ

右ニテ談畢ル五時四十分歸館